

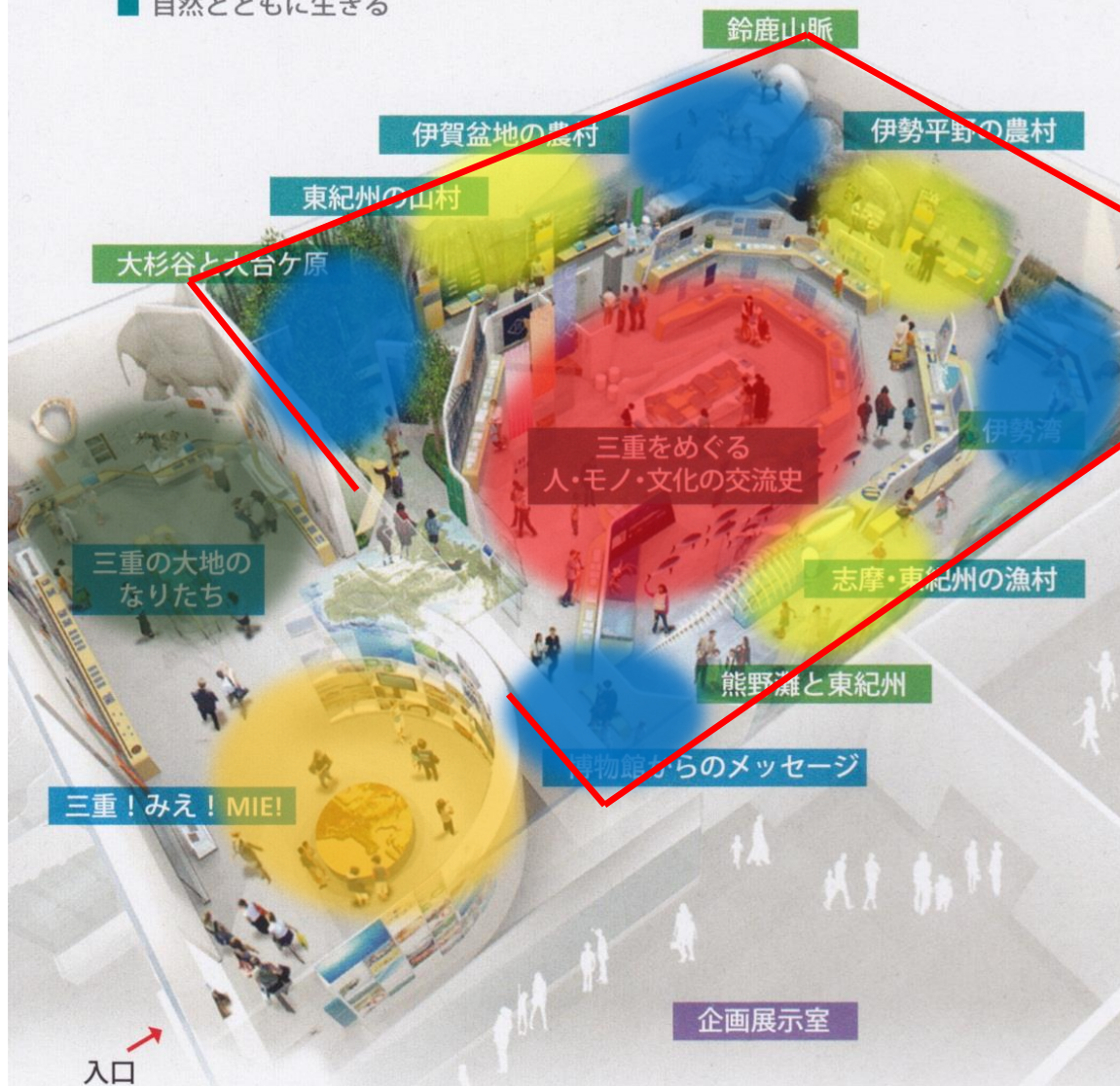


海女のくらしを展示する  
～三重県総合博物館の事例から～

三重県総合博物館 (MieMu)  
学芸員 門口実代

# 基本展示室の概要

- 三重の多様で豊かな自然
- 三重をめぐる人・モノ・文化の交流史
- 自然とともに生きる



• 820㎡の空間内で、  
三重の自然と歴史、文化を  
凝縮して紹介

• 人文系の内容と自然系の  
内容を総合的に、一体的な  
空間のなかで展開

• 外側の壁面には、県内の  
景観を連続的につなげた3  
60度のパノラマグラフィック  
を配置



○ くらしを扱った展示

(大テーマ) 自然とともに生きる

The Relationship between People and Nature

○ 4つの地域(山・盆地・平野・磯)におけるくらしについて、人と自然相互の関わりあいという総合的な視点から紹介

- ① 山に生かされる日々～東紀州の山村～
- ② 里山と人とのつきあい～伊賀盆地の農村～
- ③ 人と生きものでにぎわう田んぼ～伊勢平野の農村
- ④ 海と海女さんの約束～志摩・東紀州の漁村

○ 展示をつくるうえで大切にしたい点

- それぞれのコーナーで、具体的な調査地(集落)を選定
- 自然・歴史・民俗の各担当が2～3年かけて調査
- 定期的に「くらしの分科会」を開催
- 展示を通して「何を伝えたいのか」、「そのためには、どのような展示手法が有効か」ということを、館内で時間をかけて検討するとともに、外部の方の意見を聞く機会も設けた。

# 展示を通して伝えたいこと

私たちが調査地で訪れたときに五感で感じるようなことが  
伝わるような展示をめざす

調査地で心動かされたことを、展示を通して伝えたい



- 和具の景観を表す中景グラフィック
- 展示室の外周360° のパノラマグラフィック
- ぐらしの展示の基本構成を統一
- 調査地のことばで解説文を執筆
- ぐらしのポケット～ぐらしの写真の紹介～
- 情報端末の活用



## ● 調査地の方へのインタビュー

- ・地域の方々にご協力いただき、各コーナーで【生業】【生活の道具】【料理】【こども】【外からのまなざし】のテーマで、5～7本のインタビュー映像を制作。
- ・1本あたり、3分から10分程度
- ・映像は、カウンター上の情報端末で選択して見る
- ・ダイジェスト版(1本を1分程度の映像にまとめたもの。1分×5本のオムニバス映像)は、「フィールドへの誘い」で自動再生

### (例)磯の暮らし

- 【生業】 …… 和具のイセエビ いつまでも
- 【生活の道具】 …… 海女さんとイソオケ
- 【料理】 …… 志摩の郷土料理 手こね寿司  
手こね寿司のできるまで
- 【こども】 …… 漁師の中村龍司さん一家PART I  
漁師の中村龍司さん一家PART II  
～じいやんから孫へ～
- 【外からのまなざし】  
…… 漁村の暮らしを見つめて





# ● 海女さんの道具の展示



開館を迎え、くらしの展示もひとたびの完成はしたが、まだ残されている課題も多い。今後も改善を加えながら、展示の内容を充実させていきたいと思っている。

## 今後の課題

- ・継続的に調査地に通い、新しく得た知見を展示に反映させる
- ・時代とともに変わってゆく調査地のくらしを、どのように展示にフィードバックするか
- ・古写真の検索端末を充実させる
- ・フィールドマップに情報を追記
- ・くらしのポケット・ひきだしの活用
- ・来館者の動向をつかみ、展示のメッセージが伝わる工夫をする。

